

豊かな歴史に裏打ちされた、
嬉野オンリーワンの名品たちを
集めてみました。
お土産にもギフトにも喜ばれそうですよ。

特産品 **名品に歴史あり**



**うれしの茶
リンスイシャンプー
ボディソープ**

嬉野茶にちなんで製品化されたボディケア商品。お茶の成分が美容に役立つと、旅館などで人気を集めています。



うれしのほほん

嬉野温泉がオリジナルで開発した石鹸。嬉野の源泉とカラーゲンを配合し、無添加・無着色でお肌にやさしいとか。



**日本の名湯
嬉野**

製薬メーカーが「美肌の湯」を公募したところ、嬉野温泉が全国1位！人気入浴剤シリーズの仲間入りを果たしました。



みゆきの里 **MAP P12-D-2**
☎0954-42-2987
🕒午前8時～午後6時(10月～2月は～午後5時)
📅12月31日～1月5日
📍嬉野市嬉野町下町甲3167-2 📍10台



和泉式部の里 **MAP P11-D-3**
☎0954-66-2866
🕒午前9時～午後6時
📅1月1～5日
📍嬉野市塩田町五町甲3177-1 📍40台



肥前吉田焼

1577年の磁鉢石の発見以来400年以上の歴史をもつ焼き物。明治期には有田から技術者を迎えて錦絵に成功し、名を博しました。現在8種の窯元で多彩な器が作られています。



**しだ
志田焼**

18世紀頃にはすでに始まっていた志田焼。刷毛目の陶器や染付の磁器などが数多く生産されていました。現在は「志田の蔵」で、貴重な昭和年代製造の火鉢や飯碗などが展示即売されています。



**なべのてす
鍋野手漉き和紙**

塩田の職人が一枚一枚心を込めて漉いた和紙。丈夫さと味わいを生かして、様々な用品に加工・販売中です。



吉田まんぞく館 **MAP P12-E-4**
☎0954-43-8085
🕒午前9時～午後6時30分(冬季は～午後6時)
📅1月1～5日
📍嬉野市嬉野町吉田甲2200-2 📍50台

**農産物
直売所は
ココ!**

嬉野伝統のお茶からお菓子まで、
口福な「味覚」の思い出を残しませんか？
お取り寄せやご贈答にも
活用してくださいね。

グルメ **美味ひとかじり**



嬉野の地酒

肥沃な土地と清らかな水に恵まれた嬉野は、全国でも高く評価される酒どころ。杜氏・蔵人たちが丹精込めて作り上げた銘酒がそろいます。マッカーサー元帥や種田山頭火も愛飲したとか。



**いっこうこう
逸口香**

大陸唐の国から伝えられたという焼菓子。サクとした食感と黒砂糖の粘り、ゴマの香りがたまりません。



**すがだい
寿賀鯛**

色鮮やかな食紅で彩色された砂糖菓子。縁起の良いお菓子として、結婚式の引き出物などで親しまれています。



**うなぎ
鰻**

伝統の鰻魚が盛んだった塩田川。今でも川辺に老舗の鰻料理店があり、県内外からファンが訪れています。



うれしの茶

茶葉が一枚一枚丸いため、玉緑茶(グリ茶)と呼ばれるうれしの茶。蒸し製と釜炒り製の2種類あり、いずれも極上の味わいとふくいくたる香りの自信作です。



うれしの紅茶

お茶屋さんオリジナルの嬉野紅茶も若い女性を中心に人気です。



温泉湯どうふ

とろける食感とまろやかな味わいが魅力。嬉野温泉の成分が豆腐のにがりに作用して柔らかくなる、名物料理です。



茶がゆ

江戸時代に佐賀藩主の質素倹約令から生まれた茶がゆ。嬉野でも名産のお茶にちなみ、朝食にもなす旅館もあります。